

クレディセゾンのインド子会社、ECB ローンによる資金調達を開始

～みずほ銀行より 1.5 億米ドルの借り入れを新たに実施～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役兼社長執行役員 COO：水野 克己、以下「当社」）のインド子会社である Kisetu Saison Finance (India) Pvt. Ltd.（本社：インド・ベンガルール、CEO and Director：Presha Paragash、以下「Credit Saison India」）は、ECB ローン（External Commercial Borrowing、対外商業借り入れ）による資金調達を開始しております。このたび、Credit Saison India に資本参加する株式会社みずほ銀行（本社：東京都千代田区、頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）より 1.5 億米ドルの ECB ローンを実行する契約を締結いたしました。

Credit Saison India は、これまでも CARE と CRISIL の長期格付け AAA を基に、35 を超える現地金融機関からの借り入れに加え、社債やコマーシャルペーパーを発行し、資金調達の多様化を推し進めてきました。新たな資金調達手法として実行したインドにおける ECB ローンは、インド国外の銀行や企業からの借り入れです。インド国内の資金調達と比較して低金利となる可能性が高いこと、長期資金調達が可能といったメリットがあり、インド準備銀行（中央銀行）による規制を考慮する必要があるものの、長期目線で現地に根を張り、現地のニーズに合わせたサービスを提供している Credit Saison India にとって優位な手法と考え、実行に至りました。

なお、これまでにインド大手商業銀行である Axis Bank、シンガポール DBS、台湾 CTBC が参加する 2 億米ドルの ECB シンジケートローンを調達しており、その他、インド地場銀行からも 1 億米ドル規模の ECB ローンによる調達を行っております。そしてこのたび、みずほ銀行とは資本面のパートナーシップに加え、借り入れにおいても手法の多様化を進め、Credit Saison India の安定的かつ長期視点での財務戦略を強化しております。

当社は今後も、金利の変動や経済状況の変化に耐えうる財務基盤の強化を進め、資金を必要としているより多くの個人や中小零細企業へサービスが行き渡るよう事業を拡大してまいります。また、インド事業を通して培った知見をブラジルやメキシコ等他国へ横展開しながら、グループとして世界におけるファイナンシャル・インクルージョンの推進に貢献してまいります。

■Credit Saison India 概要

会社名	Kisetsu Saison Finance (India) Pvt. Ltd.	
所在地	インド・ベンガルール	
代表者	CEO and Director Presha Paragash	
設立	2018 年 6 月	
事業内容	個人、中小企業向けレンディング事業	
株主構成	当社グループ 83.58%、みずほフィナンシャルグループ 16.22%、その他 0.2%	